

SDGs新聞

三菱地所レジデンス株式会社

この木、どこの森から来たの！？森も人もハッピーに！

SDGsラジオを読みましょう！

マンションを建てるときに、木をたくさん使っていて知っていますか？

コンクリートを流し込んでかたちをつくる「型枠」という工事では海外の木をたくさん使っています。

では次に、その木には「認証材」と「非認証材」という2種類があることを知っていましたか？

認証材は、森や動物、木を切る人を守るルールにそって育てられ、切られた木のことです。

そして非認証材は、どこの森で育ったのか、ルールを守って切られた木なのか確認できない木のことです。

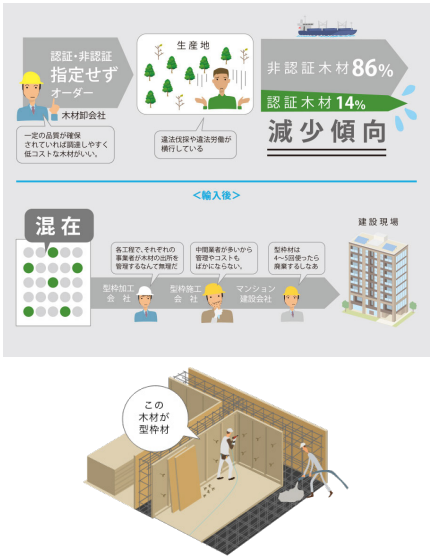
木を切ってはいけな場所ですたくさん木を切ったり、子どもたちがムリに働かされたりしている問題があるかもしれません。

だからこそ、マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」は、認証材を使うことを大事にしています。

ルールを守って木を切り、切った後に木を植え続けることは、そこに関わっている人や森を守ることにつながっていきます。

では次に、「認証材」を使わないとどうになってしまうのか？考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



マンションを建てる時には、コンクリートや鉄だけでなく、木もたくさん使われています。

たとえば、「型枠」という工事では、木材(合板)を使って枠をつくり、その中にコンクリートを流しこんで、壁や床の形をつくります。このように、木はマンションづくりではとても大切な材料で、だからこそ考えなければならないのが、「その木が、地球や人、生きものにどんな影響をあたえているのか」ということです。そのようなことから今、注目されているのが「認証材・非認証材」という考え方です。まず「認証材」とは、森や動物、木を切る人などを守るためにつくられたルールを守って、きちんと管理された森から切り出された木のことで、一方で「非認証材」とは、木を切ってはいけな場所ですたくさん切ったり、海外では子どもがムリに働かされている(児童労働)など、さまざまな問題がある木のことで、木を使う時には、どこの森で、どのように育ったのか、確認できることが大切です。

がどうさんしょう ひにんしょうざい もんだい かたわく ず みつびしじょ ホームページ
画像参照：「非認証材」による問題と「型枠」のイメージ図(三菱地所レジデンスHPより)



こうした問題に対して、マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」は、型枠工事のときに、ルールをきちんと守っている「認証材」を使っています。さらに、新しい森を育てることが約束された木を使うというような取り組みも進めています。認証材を使うことで、子どもたちをムリに働かせたり、自然のバランスをくずすようなことを減らし、二酸化炭素を吸収してくれる森を守ることにもつながります。三菱地所レジデンスはこうして地球の環境を守りながら、人や生きものにもやさしい社会をめざしています。

がどうさんしょう にんしょうざい しょう ず みつびしじょ
画像参照：「認証材の使用」イメージ図(三菱地所レジデンスHPより)

キーワード

型枠

コンクリートを流して形をつくるための木の枠のことです。コンクリートが固まるまで、その形を支える大事な道具です。型枠があることで、壁や柱などの建物の形をつくることができます。

合板

うすい木の板を何枚も重ねてくっつけた、強い木の材料です。建物や家具をつくる時によく使われます。

児童労働

子どもがムリに働かされることをいいます。勉強したり元気に遊んだりすることがじゃまされてしまうので、世界中でやめようという動きが広がっています。

対象ゴール



みなさんにできること！

「認証材」と「非認証材」のことをもっと調べてみましょう。

おさらい

- マンションを建てる時には、木がたくさん使われている。
- 木には「認証材」と「非認証材」があり、「非認証材」とは自然や生きものへの悪い影響や児童労働など、さまざまな問題があるかもしれない木のことで、
- 三菱地所レジデンスは、2030年度までにマンションで使う「型枠材」をすべて「認証材」にすることをめざしている。

メモ

